

鹿児島県最北端の島「獅子島」で2月3日、『獅子島ウォーク2013』と『獅子島フェア』が開催されました。

同日は、この時期に珍しく晴天に恵まれ、県内はもとより、遠くは大阪府や宮崎県などからの参加もあり、1500人の応募の中から選ばれた約600人が集まりました。

獅子島ウォークは、片側集落にある獅子島アイランドセンターを発着点として、七郎山（標高393メートル）山頂を折り返す13キロのコースで開催されました。

この日参加者らは、長島本島の諸浦港や熊本県水俣市の水俣港、天草市の中田港から定期船や貸切船などで次々に訪れました。このほか、獅子島を満喫しようと前日から島内の民宿に宿泊した参加者もいるなど、島内が活気に包まれました。

オープニングは「ジミー入枝&チョー水間 presents デスティニー・ブラザーズ」による歌とトークショー。参加者と一緒になったス

トレッチ運動もあり、会場は笑顔に包まれました。

開会式のあいさつで、獅子島ウォーク実行委員会の池田卓男委員長は「ようこそ獅子島へおいでくださいました。標高393メートルの七郎山山頂までの道のりは難所もあるが、自分のペースで頑張つて。終了後は、抽選会もあるので楽しみに」とエールを送りました。川添健町長は「本日は最高のウォーキング日和となった。山頂から見渡せる360度のパノラマを見てほしい」と獅子島をPRしました。

スタートは午前10時。花火の合図で一斉に歩き始め、中継地点や七郎山山頂では、スタッフがお茶やポンカン、あめなどを手渡し、獅子島アイランドセンターでは、地元婦人会がアオサ汁とおにぎりを振る舞い、手作りの味で参加者をもてなしました。

同日は、発着点となった獅子島アイランドセンター前で、獅子島フェアも開催されました。ナマコやアオサ、ミカン、ヒオウギ貝など地元特産品が販売され、新鮮な食材

が格安で手に入るとあって、各出店には買い物客が殺到するほどの盛況ぶりでした。

このほか、獅子島で水揚げされた魚が炭火焼きで味わえる「獅子島グリル」も登場し、参加者のおなかを満たしていました。

日置市から参加した上田平勝雄さん、清子さん夫婦は「新聞で開催を知り応募したところ、抽選が当たり参加ができてうれしい。自然を満喫しながら楽しみたい」とスタート前に話しました。

折り返し地点で休憩していた、出水市から友人2人で参加した田平聰子さんと福山栄子さんは「天気が良くて気持ちがいい。七郎山山頂から自分の住む出水市や島原半島の普賢岳も見えて、景色の良さに感動した」と心と体をリフレッシュしていました。

この日は、フェア会場前の片側集では、海上自衛隊の掃海艇「ししじま」も寄港し、同船の一般公開も行われ、多くの人が船内に足を運び、休日を楽しんでいました。

参加者とのストレッチ運動が盛り上がった、鹿児島の俗謡「茶わん虫の歌」をアレンジした「ドゥーワップ・茶わん虫体操」



一般公開が行われた海上自衛隊の掃海艇「ししじま」



好評だった「獅子島グリル」



獅子島特産の海産物を買う参加者



「ジミー入枝&チョー水間 presents デスティニー・ブラザーズ」によるオープニングセレモニー

